しょうがっこうをおくる会　様

Plan Japan

プラン特別プロジェクト
エチオピアにおける学校建設プロジェクト
完了報告書

エチオピアの子ども

財団法人 日本フォスター・プラン協会（プラン・ジャパン）
〒154-8545 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-22 サンタワーズセンタービル11F
www.plan-japan.org

プロジェクトに関するお問合せ： プログラム部 プラン特別プロジェクト担当 寺田聡子
TEL：03－5481－6265／FAX：03－5481－6200
Email： terata@plan-japan.org

2010年4月

しょうがっこうをおくる会様

拝啓
時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度は、国際 NGO プランの活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ご支援いただきましたエチオピアにおける学校建設プロジェクトが完了いたしましたので、ここにご報告申し上げるとともに、深くお礼申し上げます。

今回の貴重なご支援により、子どもたちのより良い未来の実現に、大きく一歩近づくことができました。これからもプランは、皆様からの支援によって、途上国の子どもたちとともに地域開発を進めて参ります。

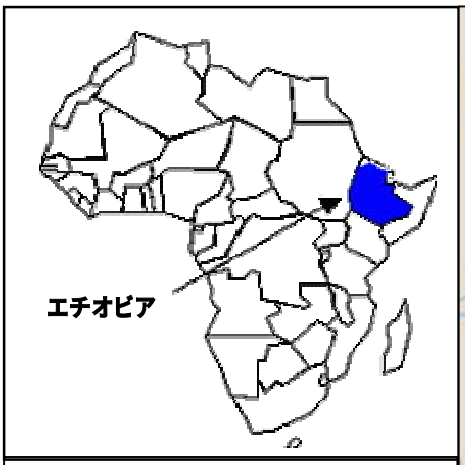
賜りましたご寄付に今一度感謝申し上げますとともに、今後とも末永くプランの活動にご参加いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

敬具

財団法人 日本フォスター・プラン協会（プラン・ジャパン）
専務理事 事務局長
鶴見和雄

■ プロジェクトの背景・概要

プランは、エチオピアで１９９４年に活動を開始して以来、教育、保健、住環境の改善、住民の収入増加など多岐にわたる分野で、住民参加型の地域開発活動に取り組んでいます。



エチオピア基本データ
・人口：8,071 万人
・5 歳未満児死亡率：109 人/1000 人
・小学校就学率：45%　修了率：58%
・1 人当り国民総所得（GNI）：280 米ドル
「ユニセフ世界子供白書 2010」より

エチオピア南西部のジンマ活動地域が管轄するティロ・アフェタ地区は貧しい農村地帯で、貧困から派生するさまざまな問題に直面しています。特に近年増加する生徒数に対する学習環境の改善は急務です。

ティロ・アフェタ地区デチャ・ネディ・ケベレ村にあるイゴ小学校には、近隣の村からも生徒が通学している学校です。しかし、生徒の人数に見合った教室数がなかったために教室は常に混雑し、生徒たちは集中して学習に臨むことができませんでした。また、教室内は暗い上に風通しも悪く、床は土を固めただけで埃っぽかったため、呼吸器系の疾患を患う子どもたちも少なくない状況でした。適切な学習環境に恵まれない子どもたちは、学習能力や創造性を伸ばすことが難しく、将来的にも貧困のサイクルから抜け出せるチャンスがほとんどありません。

このような状況を改善するため、このプロジェクトでは、新たにイゴ小学校に２棟（教室８教室）と職員室棟１棟の合計校舎３棟を建設しました。安全で快適な教室ができたことで、現在イゴ小学校に通う１,１４６人の子どもたちがより良い教育環境で学習できるようになりました。

■ プロジェクトの経過

このプロジェクトは、2009年4月の開始以来多少の遅れはあったものの概ね順調に推移し、以下の活動を実施して、2010年3月に無事完了しました。

■ プロジェクトの内容変更について

当初、教室4教室、図書室1教室、職員室1教室からなる校舎2棟（合計6教室）を建設する予定でしたが、ご支援決定後、地域の人々からの強い要望と教育省の助言があったため、再度計画と予算の見直しを実施しました。この結果、当初より大幅に規模を拡大し、2棟（教室8教室）と職員室棟1棟の合計校舎3棟を建設することになりました。建設する教室数が増えたことと、建築資材が予算作成時に比較して高騰したことから、総予算が高額になったため、予算の確保と調整に時間を要しました。

■ プロジェクトの成果

■ 子どもたちの学習環境と教育の質の向上

新しい校舎が完成したことで、現在同校に通う1,146人と入学予定の村の子どもたちが快適な環境で、授業を受けることができるようになりました。子どもたちにとって、教育がもっと身近なものとなり、学習効果の向上や中途退学数の減少が期待できます。また、プロジェクトを通じて、保護者の教育に対する意識が向上し、教育内容や環境をより一層改善していこうという決意も強固なものとなりました。

■ 住民参加による、地域の能力強化

プロジェクト期間中、子どもたちを含む地域の人々、親・教師・地域住民の会、教師、自治体の担当者などプロジェクトに関わるすべての人々が良好な協力関係を築き、うまく役割分担をしながらプロジェクトに積極的に参加しました。その結果、地域の人々自身が責任を持って、プロジェクトによる成果を継続させていく体制が整いました。

■ プロジェクト支出

しょうがっこうをおくる会様からいただいたご寄付23,049米ドル（223万円）は、下記のとおりすべて支出を終えました。ご寄付額と総支出との差額は、エチオピアでの活動を統括するプラン・エチオピアの年間予算より拠出してプロジェクトを完了いたしました。

活動内容	支出額（米ドル）
校舎建設（教室備品含む）	271,591
合　計	271,591

■ 現地の声

「以前の教室は床が舗装されていなかったので、室内は埃っぽく、体に良くありませんでした。今ではとてもきれいな教室になって、みんな毎日学校に通うのが楽しみです。」

（サダ・ハジ・アブド／6年生）

「新しい教室ができる前は、とても混みあった教室で授業を受けなければならず、限られた座席のスペースが原因でたびたびけんかが起きていました。黒板も小さく、すぐに書くスペースがなくなってしまうので、ノートに書き写す時間も十分ありませんでした。しかし今では、黒板が大きくなり、板書も楽になりました。状況が改善されて嬉しいです。」

（ハッサン・アバメチャ／8年生）

「これまでは、毎週金曜日に牛の糞を集めて、教室に埃が入るのを防ぐために校舎の壁に塗る作業をしていました。これからは、その必要もなくなり、金曜日に授業が受けられるようになったので、良かったと思います。」

（モニナ・アバジハ／8年生）

「前の教室はとても古く汚れていたため、子どもたちは部屋のそうじに多くの時間を費やさなければなりませんでした。今は保護者たちも教室の維持管理に関心を持つようになり、そうじを手伝うようになりました。大人たちも、今まで以上に協力することを約束します。ありがとうございました。」
（アバモガ・シェキ・アバジギ／59歳、デチャ・ネディ・ケベレ村住民）

「イゴ小学校に新しい教室が完成し、とても誇らしく思っています。新しい教室は理想的な学習の場となっており、以前より多くの子どもたちが私たちの学校に通うようになりました。支援者の方に感謝しています。」
（メハメダミン・ハッサン／30歳、イゴ小学校校長）

■ 写真

新しくできた校舎全景

記念プレートがついた教室棟

「しょうがっこうをおくる会のご支援により、プラン･エチオピアが建設しました。」

一生懸命勉強します。どうもありがとうございました！